



## NEWS RELEASE

報道資料

2007年10月29日

(日本時間)

### アプライド マテリアルズ SunFab テクノロジーセンターを開設、 ソーラー技術のイノベーションを加速

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 10 月 26 日 (ドイツ現地時間)、次世代ソーラー技術アプリケーションに向けた業界最先端の R&D 施設、SunFab テクノロジーセンターを開設しました。ドイツのアルツェナウに設けられた広さ 2,000 m<sup>2</sup> のこの施設は、アプライド マテリアルズの PECVD 装置や ATON™ PVD 装置をはじめ、レーザー加工装置、工場自動化ソフトウェアなど、最新鋭のソーラーモジュール製造装置を取り揃え、大規模太陽電池生産ライン Applied SunFab™ Thin Film Line を構成する全装置を備えています。

この施設はアプライド マテリアルズにおけるソーラー研究開発の主要拠点として、太陽電池モジュールの変換効率の向上と製造コスト引き下げに重点的に取り組みます。さらに、お客様が行う主要装置やプロセスの評価と試験を支援するほか、この地域で稼動している結晶シリコンや薄膜の従来製造設備を強化する役目も果たします。

アプライド マテリアルズのシニアバイスプレジデント、CTO 兼 エナジー&エンバイロメンタル ソリューショングループ ジェネラルマネージャー マーク・ピントは次のように述べています。「このセンターは、モジュール効率の加速度的な向上、そして発電コストの低減に全力で取り組むアプライド マテリアルズの姿勢を反映しています。市場での需要拡大を受けて、お客様側では迅速な生産展開が望まれています。当センターはそうしたニーズにすばやく効果的に応えていきます」

アプライド マテリアルズのソーラービジネスグループ最高技術責任者 (CTO) ウィンフリート・ホフマンは、次のように話しています。「アプライド マテリアルズは、ソーラー産業が世界的に躍進すると見ており、SunFab テクノロジーセンター設立はその確信に基づくものです。400 人以上が従事しているドイツで、世界的なソーラーの人材を魅きつけるセンターオブエクセレンスとして機能するだけでなく、この地域でソーラー分野の専門的技術と高い技術を有する人材に影響を与えていくことでしょう。」

アプライド マテリアルズは、Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーとして、半導体デバイス、フラットパネルディスプレイ、太陽電池などの製造装置ならびに、サービス、ソフトウェア製品を幅広く提供し、ナノマニュファクチャリングテクノロジーを人々のライフスタイル向上に役立てています。

詳しい情報はホームページ：[http://www.appliedmaterials.com/news/index\\_6.html](http://www.appliedmaterials.com/news/index_6.html)（日本語）でもご覧いただけます。

\*\*\*\*\*  
このリリースは 10 月 26 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 15 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社  
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー  
コーポレート マーケティング部 : 平澤 美香 (Tel: 03-6812-6807 / Fax: 03-6812-6833)  
ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>

---